1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2017 年 7 月 7 日発行　SSKU　増刊通巻第 5817 号

NPO 法人わくわくかん
編集　〒115-0044
東京都北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-3337

http://www.wakuwakukan.net/

2017 年 7 月号　No.196

シャケ Zo くん

SSKU わくわくかん リボン便り

？？なぜリボン？？

生まれ変わった
再生したという意味の
（Reborn）。
新しく生まれ変わる
「便り」にしたくて、名付けました。

北区社会福祉協議会主催の「おちゃのこ祭祭」が、6 月 10 日-11 日に北区社会福祉協議会主催で、今年も滝野川会館で開催され、おおぜいの人たちが来場し活況でした。わくわくかんからはひびき・配食・リボーンのメンバーが元気に参加しました。

“おちゃのこ祭祭”に多くの出演と出店で賑わう

今年で 24 年目を迎える、北区社会福祉協議会主催のおちゃのこ祭祭が、滝野川会館で開催されました。

おちゃのこ祭祭とは、「ささえあいのまち」実現のためにみんなが「出会う」ことが大切と考え、皆が出会うために、福祉関係団体・施設、文化、芸術、環境、子育て、国際協力などの分野で活躍されているボランティアグループや企業、商店街の方々70 団体が集まった、みんなが楽しめるバリアフリーなお祭りです。開催当日は、滝野川会館を貸し切り 2 日間で大勢の人々の来場でにぎわいました。

写真は会場でのわくわくかんの売り子たち

2015 年からわくわくかんからボランティア響会（通称：響　自立訓練事業）が模擬店を出し、今年で 3 年連続の参加となりました。ちなみに、2015 年はカレー、ポップコーン、ミニアメリカンドッグ、手作りの小物の販売。2016 年はフランクフルトと焼きそばパン、手作りの小物の販売。そして、今年はひびきのだけではなく、なんと！わくわく配食サービスのお惣菜や焼き菓子、リボーンプロジェクト（就労移行支援事業）の手作り小物も販売しました。

この日のために、配食サービスでは早朝から商品を調理し、朝 9 時過ぎには会場に届けられました。朝 10 時から販売開始。販売係は響のメンバーが交代で務めました。焼きそばは 12 時すぎに早々完売。フランクフルトはなんと 2 日分が初日で完売しました。（後ほど二日目分を追加で仕入れを実施）響メンバーは、「いらっしゃいませ」「おいしい焼きそばはいかがですかぁ！」と、それぞれが大きな声でアピール。商品の説明やお金の受け渡しは緊張しましたが、メンバーは積極的に声を出していました。立ちっぱなしの時間が多かったので、正直かなり疲れていましたが、「売れて良かった」「お疲れ様―！」と心地よい達成感がありました。普段はなかなかない、貴重な経験でした。

わくわくかんの売り場には、わくわくかんのメンバーや、ご家族、関係機関、区議会議員の方など沢山の方々が来て下さいました。このような時に、地域とのつながり、人とのつながりをしみじみと感じます。多くの方がわくわくかんのことを気にかけて下さっているのだと、改めて感じました。また、今回で参加が三回目となったので、毎回一緒に模擬店を出している団体さんとは、すっかり顔なじみになりました。買い物に行くと、「もう、知ってるから、おまけしちゃうよー」と言ってもらえたり、人手が足りない団体さんの手助けを、他の団体さんがしていたり・・・。

とにかくおちゃのこ祭祭は、人とのつながりを感じる温かいイベントです。来年もぜひ参加したいです。

＜わくわくかん７月予定表＞

- ✧　6 月 30 日（金）～7 月 01 日（土）　お富士さん（十条富士神社大祭）9：00～20：00
- ✧　7 月 01 日（土）「罪に問われた障がい者」の支援 10：00～（日本教育会館ホール）事前申込
- ✧　7 月 08 日（土）はたらっくす 16:00～（自立訓練室）
- ✧　7 月 24 日（月）現場協議会 16:30～（スカイブリッジ）
- ✧　7 月 25 日（火）家族懇談会 16:00～（自立訓練室）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2017 年 7 月 7 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 5817 号

わくわく配食サービス

就労継続支援 A 型事業
北区赤羽南 2-6-6
TEL：03-3598-0089
FAX：03-3598-0089

もみなすの炒めもの

【材料】
なす――２本
豚肉――50ｇ（4cm くらいに切る）
油――大さじ２
塩――小さじ４分の１
トマトケチャップ―小さじ１
カレー粉――少々
しょうゆ――少々

【作り方】
①なすはヘタをとり、5mm くらいの輪切り。
②なすを袋に入れ、塩小さじ 1/4 を入れ、くずさないようにかるくもみ、しばらくおく。
③しんなりしたら袋の口をおさえ、中の汁を絞る。
④豚肉を油大さじ２で炒め、なすも加えて炒める。材料の{で囲った調味料で味を付ける。

成分は水分が 90%以上で、ビタミンやミネラル類はあまり含まれていません。「なす紺」と呼ばれる紫紺色の皮に含まれる成分は、ナスニンというアントシアニン系色素で、ポリフェノールの一種です。アントシアニンは活性酸素の働きを抑制し、ガン予防のほか、血管をきれいにし、動脈硬化や高血圧を予防する効果もあるといわれています。

食中毒対策

細心の注意を払っていますが、特に梅雨時期は湿度も高いので、細菌が増えやすく特に気をつかっています。
・丁寧な手洗い
・よく火を通す。生はあまり使用しない。
・汁気をさけて、水分の多いおかずを控える。
・冷ましてから、お弁当に詰める。

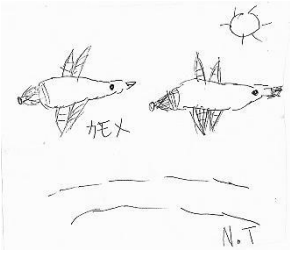
不在のお客様の所には保冷剤とお弁当と一緒に入れておきます。

定期的な検査や講習なども受けて、食中毒を発生させないよう全員で気をつけています。

北区内の福祉サービス計画における就労継続支援 A（雇用）型と B（非雇用）型

自治体では、毎年事業計画に基づいて福祉サービスを実施しています。北区も同じですが今年度は、就労継続支援Ａ型事業所を利用する方の人数はほぼ昨年と変わらない予定です。

就労継続支援Ｂ型は、まだ利用者を増やしていく予定になっています。就労継続支援Ａ型事業所で、働きたいという方はまだまだいらっしゃると思うのですが・・・。残念な感じがしています。



また、今年度から関西に特に多くある「悪しきＡ型」（事業を行わず給付金のみを狙いにする事業所）の規制のために、Ａ型事業所も数量規制ができました。また、Ａ型を新たに新設するためには、事業内容の収支「積算根拠」を提出する必要があります。これから新設するＡ型は、企業など収入を望める仕事が確保されている団体に限られると推測されます。

わくわく配食サービも、このような状況の中ですが貴重なＡ型事業所として、「経営改善のために全員同じ思いでできることは何でもしていく覚悟」でいたいと考えています。

こういう状況にあるということを、ひとりでも多くの方に知っていただきたい応援していただきたいという思いです。

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2017 年 7 月 7 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 5817 号

自立訓練（生活訓練）事業 ボランティア響会

通称 響（ひびき）

〒114-0032　北区中十条 1-2-18
北区障害者福祉センター4F
TEL 03-5963-6888

＜イベント報告＞（一面から続く）

「おちゃのこ祭祭」の感想

▲わくわくかんの出店商品

★いっぱいのお客様でびっくりしました。計算を間違えないように注意しました。なんとかしっぱいなく終了することが出来ました。（Y、O）
★ひびきとして小物の他フランクフルトの販売を行ったが、多くの客が来て頂いてなんと 2 日分のフランクフルトを一日で完売してしまった。完売してすごくうれしかったが、翌日の分をどうするかでてんやわんやとなったのがすごく印象に残りました。準備も含めて 3 日間大変楽しく参加出来て良かったです。（T、K）
★１日だけでしたがとてもよかったです。T さんが来てくれてよかったです。（S、W）
★電車に乗れない自分が、東十条から上中里まで行けたのは良い経験になった。予想以上の人が来ていてビックリした。販売ではフランクフルト担当だったが、楽しくできたと思う。又、スタンプラリーに来た子供達もかわいらしかった。（M、O）
★お客様がたくさんこられて楽しかったです。
★まかないのフランクフルトがおいしかったです。
（H、K）

ハンドベル発表会

５月 16 日、響でハンドベルの発表会を行いました。
今回の発表曲は「少年時代」。
リボーンのスタッフやメンバーさん達をお客様に迎え、曲を奏でました。

発表前、少し緊張感があったメンバーでしたが、思いもよらず、すばらしいゲストが登場！その方は、井上陽水（似）さん。
さて、いざ発表！
前回「星に願いを」を奏でましたが、メンバーの腕も上達し、すばらしい発表会になりました。
５月、響のスタッフさんが卒業することもありましたが、喜んでもらえたと思います。
次回何を発表するかわかりませんが、こうご期待！！
（メンバーO）

夏の代名詞「七夕」

七夕と言えば、天の川、お祭り、たこ焼き、金魚すくい、と華やかなイメージがありますが、短冊への願い事もその一つ。みなさんはどのような願い事をするのでしょうか
★毎日、充実した一日が過ごせますように…。（T、K）
★無病息災（H、A）
★大学院合格！！（M、K）
★健康的にやせられますように。（Y、S）
★心身ともに安定し健康に過ごせますように。（H、O）
★早く仕事に慣れますように（T、H）
★子供たちが早く施設から帰ってきますように！（K、F）
★平和で何事もなく一年を過ごせて SEKAI NO OWARI のライブに行けますように。（S、N）
★やせますように（A、K）
★花火大会に一緒に行ってくれる彼女ができますように。（Y、T）
★いつでも笑顔でいられますように（Y、O）
★阪神タイガーズ優勝！！（O、H）
★彼女が出来ますように（S、W）
★早く病気が良くなりますように（K、O）
★作業所に向けて体調をととのえられるといいな（K、O）
★幸福になれますように（Y、I）
★北りく新かん線に乗ってお墓参りに行けますように。（H、T）
★ダイエット（H、K）
★沢山笑って、沢山食べて、沢山運動をして、健康的に過ごしたい。（スタッフ K）

ミニクッキングの報告

ミニクッキングでおそば（付け麺）、ところ天サラダを作りました。各班に分かれて作りました。作ったメンバーさんたちからとても好評でした。
そばつゆは、ネギと鳥肉を焼いた物を入れ、その出汁が良く出ていてとてもおいしかったです。
ところ天サラダは、ハム、卵、きゅうりをところ天のつゆで合えた物で、こちらもとてもおいしかったです。メンバーさんたちから大好評だったので、スタッフの栗原さんに教えてもらったレシピを欲しがっていました。（メンバー　F＆N）

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2017 年 7 月 7 日発行　SSKU　増刊通巻第 5817 号

就労移行支援事業

リボーンプロジェクト

〒114-0032　東京都北区中十条 1－2－18
北区障害者福祉センター４F　Tel：03-5963-6888

6 回目の OB 会を開催

リボーンプロジェクトでは年に２回、OB 会を開催しております。６月３日に６回目となる OB 会を開催いたしました。当日、続々と懐かしい顔ぶれがそろってくると、雰囲気もどこか懐かしさを感じさせるものとなりました。

メンバー※同士、久しぶりに会う仲間とねぎらいの挨拶を交わしていました。そして、メンバー代表から開会の挨拶と乾杯のおんどを頂きました。

はじめは、氏名・卒業した時期・近況を話していただきました。みなさん、公私ともに充実されているようでした。

しばらく歓談した後、サイコロトークを行いました。仕事での苦労話や嬉しく思ったエピソードなどを話してくれました。みなさんお仕事の話となると、表情もどこか凛とした感じになり、リボーンを卒業した時よりも、頼もしく映りました。
そして、職員への質問コーナーでは、メンバーに質問を出してもらいました。「もし、他の職業だったら、なにをしていましたか」、「仕事をしていて、良かったと思ったことはありますか」など。当日職員は３人おりましたので、それぞれが、普段あまり話さない仕事への姿勢や励みになったエピソードをお話しました。みなさん、真剣に聞き入っていたのが印象的でした。

今回、５月の連休明けに入ったばかりのメンバーも参加してくれました。ようやく、環境に慣れつつある方なので、もちろん OB メンバーの名前さえ知らない状態です。勉強になることなら積極的に参加する。そんな意気込みを感じました。

※リボーンプロジェクトに在籍した方をメンバーと呼んでいます。以前、研修の中で皆さんと決めた呼び方です。

＜OB 会参加の感想＞

★沢山の方のストレス発散法を聞き、それを実際に実践する機会を多く見つける事が出来るようにしたい。実際に会社に入ってストレス発散法を実践できるような機会を早く見つけたいと思う。　N、K

★初めての OB 会でした。楽しめたと思います。OB の方も色々あるなあと思いました。　E、Y

★リボーンを卒業した先輩方がたくさん来てました。自分も先輩方のように卒業できるようになりたいと思いました。S、K

★OB の皆さん、仕事で大変な時でも気持ちをしっかり持ち（時には心によろいを着て）会社に行かれていると感心しました。会社に行きながら資格試験の勉強をされていて、自分の時間を有効に使用されていて参考になりました。　K、S

ハローワークセミナーの報告

６月 13 日にハローワーク王子の精神障がい者トータルサポーターの方をお呼びして、就職に向けてのセミナーを行いました。求人を見慣れているハローワークの方からハローワークの使い方を始め、障がい者雇用のメリット・デメリット、現在の求人状況、企業の求める人物像、応募書類作成のポイントなどの就職活動に役立つ情報を話していただきました。

その中で『働くための準備（職業準備性）』をしっかり整えてから就活をした方が良いというアドバイスがありました。企業は選考で「受け入れ部署に馴染めるか」を心配しているそうで、経験や能力はその次と考えていると教えていただきました。経験や能力で判断していると思いがちですが、仕事は一人では成り立たないので、困ったときに自分から相談することが大切だということを改めて知る機会になりました。また、上司は自分では選べないため、特定の人にしか相談が出来ないということではなく、今からいろいろな方に相談が出来るようになっておくことも大事だとお話されていました。就労の準備のためにリボーンに通っている今だからこそ、今回教えていただいたポイントをぜひ日々の訓練の中で練習していただけたらと思っています。

＜セミナーの感想＞

★就活するにあたって面接の注意点や履歴書の書き方など、就活する時に大切な事をたくさん教えてもらいました。ハローワークのイメージがぐんと変わりました。研修が終わった後の質問にも丁寧に答えて下さって嬉しかったです。K、Y

★求人票に雇用期間３ヶ月と書いてあっても更新される可能性がある事が分かりました。就労の準備性に関しては、長所や短所、苦手な事への対策、配慮をして頂きたい事について等、まだ自己理解が足りてないので、しっかり考えて前進したいと思います。K、M

★準備の期間の事や今なにが出来るかについて勉強になりました。　E、Y

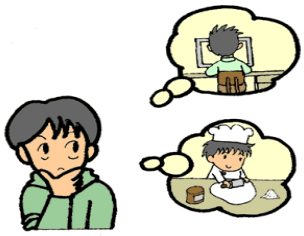
★就職に関することを聞きました。わからないところもありましたが、ためになることばかりでした。これをきっかけに、就職できるようにがんばりたいです。S、K

★就労とは働く信念が必要。資格やスキルより、準備性。働くとは、会社は福祉と違う。いろいろお話をして頂き、就職活動にあたっての大切な事を感じました。　H、S

★資料を見てわかりやすく書いてありました。知っていた事も記載してありましたが、それでもしっかり読んで行こうと思います。私も気をつけて行こうと思ってるその一つ体調面の事も載っていましたので健康をずっと維持して行きたいと思います。　H、U

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2017 年 7 月 7 日発行　SSKU　増刊通巻第 5817 号

第３回　わくわくかん　家族懇談会のお知らせ



開催日時：　2017 年７月 25 日（火）16:00～17:00
場　　所：　障害者福祉センター　４階　自立訓練室
内　　容：　精神障がいを持ってる人の働き方について
個人面談：　※（事前にお申し込みを）17:00～
連 絡 先：　TEL　03－5963－6888　FAX　03－3906－9997

≪第三者評価について②≫

［ 就労継続支援Ａ（雇用）型事業所　わくわく配食サービス　の場合 ］

第 3 者評価とは、福祉サービス事業を行う事業所が最低でも 3 年に一度は受審するものです。受審する内容は、利用の方への聞き取り調査などと職員へのアンケート調査、管理者が法人や事業所の目指していることや現状などのまとめを作成します。最後に、ほぼ 1 日かけて事業所の実地調査と様々な福祉サービスに必要な書類の確認、管理者との質疑応答を行います。

報告会は、経営層に向けて「経営状況の抜本的改革の必要性」の指摘、スタッフ向けの報告会では、利用の方の評価に対して助言を受けました。利用の方には、管理者より 6 月 10 日の全体ミーティングで報告させていただきました。

全体評価講評

◎特に良いと思う点について

①単独の就労継続Ａ(雇用)型事業所として、利用者と職員が一体となってお弁当の調理から販売の業務を中核に自立に向けて取り組んでいる。

②障害者虐待の防止・障害者の擁護者に対する支援者に関する法律についてのアンケート調査実施など家族に対する多様な情報発信をしている。

③利用者の健康維持・管理を優先し、無理な勤務をしないように導いたり、必要に応じて病院への受診同行などバックアップなど行っている。

◎さらなる改善が望まれる点

①調理や運転を担う職種で働く非常勤スタッフにも、業務の一定水準を保つための研修や情報交換の場を持てる機会の提供が期待される。

②利用者主体の販路拡大の取り組みなど行われているが、収支面では赤字という課題への抜本的な対応が望まれる。

③厨房の衛生管理には配慮しているものの、事業所内の他の場所の環境整備の対応が遅れているので、改善の取り組みが期待される。

◎事業所が特に力を入れている点

興味ある仕事、やってみたい仕事の意向を探り、実践に結びつくように調整している。

利用者の聞き取り調査結果

利用者の総合的な満足度は、67％でした。「利用者の気持ちを尊重し対応されているか」や「困った時に支援を受けているか」などの項目の満足度が高い。「自分の障害のことを十分理解して対応してくれているので安心です。」「大変やりやすい環境で仕事をしています。」「この職場に来るとリラックスできて、とても良いです。職員さんの対応が優しいです。」

以上の結果を踏まえて、よりよい結果が導きだせるよう日々利用の方とスタッフと一体になり運営に取り組んでいきたいと考えています。

６月はたらっくす報告

６月のはたらっくすは 10 日にわくわくかんで行われ、５名の参加でした。今回は新鮮な話題がかなり出ました。働いていると「凄い能力の人」という方がいます。以前働いていたスーパーの、青果部のチーフがそうでした。チーフは、仕事の青果類の袋詰めは右手でも左手でも全く変わらずに出来て、学生時代に少林寺拳法で日本一になり、奥様は有名なクラシックのフルート吹きでした。ある日、私に「床をこする掃除をやってくれ」とチーフが言いました。私は元々そのスーパーに清掃で入っているので「これは良い所を見せるチャンスだ」と腕をまくりました。そしてやってみたらチーフに「もっと腰を入れて、こうやるんだ」と言われて、確かにその通りなのでした。その時にチーフは「俺は何でも出来るんだよ」とさり気なく言っていました。チーフは本当に凄い人なのです。チーフは「俺は、紀伊国屋とか伊勢丹クイーンズの店長をやる人間だ」と、そのスーパーを去って行きました。私には「殻を破れ」と言ってくれました。当時の私には何の事か判りませんでしたが、最近、判る気がします。しかし「時すでに遅し」です。次回のはたらっくすは、７月８日（土）の 16～18 時です。働きたい人と働いている人が対象で、いつ来られても、いつ退室されても自由です。　(H、M)

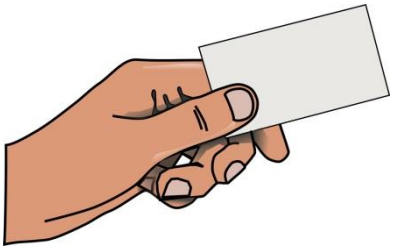
1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　（毎月 3 回 8 の日発行）
2017 年 7 月 7 日発行　SSKU　増刊通巻第 5817 号

心身障害者医療費助成制度（通称：マル障）に精神障害者も適用して!!　東京つくし会が団体署名！

東京つくし会（東京都精神保健福祉家族会連合会）では「心身障害者医療費助成制度（通称：マル障）に精神障害者も適用して欲しい」という団体署名を集めています。NPO 法人わくわくかんの 5 月の総会でも、第 7 号議案として、法人・家族会含めてこの動きに賛同することを決めました。

3 月 30 日に開催された東京都議会本会議において、心身障害者医療費助成制度（通称：マル障）に精神障害者も加わる請願が採択されました。しかし 1974 年度からこの制度が施行以来、誠意ある態度は示されてはいません。

そのため 2018 年度の東京都の予算の概算要求準備が 7 月から始まるのに合わせ、小池百合子都知事に対し、①精神障害者保険福祉手帳の 1 級、2 級、3 級の手帳所持者を対象にしてください。②診療科目　全診療科目を対象にしてください。③通院、入院も対象にしてください。の 3 項目をあげ、6 月 30 日までの団体署名を広く求めて活動しています。



精神障害者の件数が大幅増加
ー障害者の就職紹介状況ー

厚生労働省は 6 月 2 日、2016 年度の障害者の職業紹介情報を公表した。ハローワークでの新規求職申込件数は 19 万 1853 件で、対前年度比 4655 件、2.5%の増加だった。就職件数は、9 万 3229 件（対前年度比 3.4%増）。また、就職率も 48.6%（対前年度比 0.4 ポイント増）と上昇した。

なかでも精神障害者の新規求職申込件数は 8 万 5926 件で前年度に比べて大幅に 6.6 ポイントの増加、就職件数は 4 万 1367 件で 7.7 ポイント増加した。なお、就職率は 48.1%で 0.4 ポイント増加となった。

身体障害者の新規求職申込件数は 6 万 663 件で前年度に比べて 4.3 ポイントの減少、就職件数は 2 万 6940 件で 3.8 ポイント減少した。なお、就職率は 44.4%で 0.2 ポイント増加となった。

知的障害者の新規求職申込件数は 3 万 4225 件で前年度に比べて 2.4 ポイントの増加、就職件数は 2 万 342 件で 1.9 ポイント増加した。なお、就職率は 59.4%で 0.3 ポイント減少となった。

16 名の職員が受講
都の「精神保健福祉研修」

今年も東京都の「精神保健福祉研修」（前期）がはじまりました。NPO 法人わくわくかんも 16 人のメンバーが次の項目で受講しています。

① パーソナリティ障害の理解（就労支援センター・Y/相談・F/就労移行・S）
② 家族を理解し支援につなげるために（就労継続支援 A 型・N/就労支援センター・K/就労移行・F）
③ 高齢期の精神疾患の理解を深めるために（就労移行・K）
④ 精神保健福祉基礎研修（GH・S/自立訓練・K）
⑤ 相談力入門（自立訓練　就労移行・K/就労継続支援 A 型・K/就労移行・H/）
⑥ 発達障害の理解と支援（就労支援センター・K/自立訓練・A/ヘルパー・M）
⑦ アウトリーチ支援研修（就労継続支援 A 型・A）

現場からのひとこと②

保護者のボランティア参加

先日、小学 2 年生の息子の学校の授業で「自分たちのまちたんけん」を行いました。平日の休みがとれた私は、普段はなかなか参加できていない保護者のボランティアに参加しました。保護者ボランティアの役割は、子供たちのグループに付き添い、決められたコースを探検し、事故なく学校に戻れるようにフォローすること。まだまだやんちゃな小学生の子供たちに付き添い、「バスの車庫があるね」「公園があるね」「ここは畑。何の野菜かな？？」と話しかけながら行きました。歩きながら気づいたことは、近所の方々の子供たちを見守る温かさ。「がんばってねー！」と声をかけて下さる団子屋さんのおばさん。子供たちを微笑んで見ているパン屋のお姉さん。子どもが安全に横断歩道を渡るのをずっと待って下さるトラックのおじさん・・・などなど。どんな人もいつの間にか、知らない誰かに助けてもらうことが実は沢山あるもので。そして、人から気にかけてもらえることは、実はとても有り難いことで。何気ない日常の中で色んな人たちに支えられて過ごしていることに、深く感謝しなければと思った出来事でした。　【就労移行支援事業／自立訓練事業 K】

1998 年 10 月 9 日第三種郵便物認可　　（毎月 3 回 8 の日発行）
2017 年 7 月 7 日発行　　SSKU　　増刊通巻第 5817 号

共同連東北ブロック交流会＆マラソントーク

投稿報告

６月１０日、新潟市にて「第４回共同連東北ブロック交流会＆マラソントーク 社会的事業所研究会ー障がいあるなしに関わらず共に働く事業所づくりー」が開催されました。前半は現地の事業所「ドリームネクスト(就労継続支援Ａ型)」「天寿園カフェ kimama(就労継続支援Ｂ型)」の見学。後半は、齋藤縣三氏(共同連事務局長)、樋口功氏(NPO 法人支援センターあんしん)、石澤利巳氏(札幌障害者活動支援センターライフ)によるシンポジウムが行われました。

▲写真はドリームネクストの作業風景

ドリームネクストはラーメン店・製麺工房・移動販売などを展開されている事業所。訪問した 11 時半ごろは昼食時ということで店内はほぼ満席。きれいな店構えは福祉事業所のそれではなく、ぱっと見てＡ型事業所とは分かりません。地元名産のトマトを活用したメニューの考案、移動販売車での販売などの事業展開が紹介されました。就労支援についても、関連グループを通じたネットワークを活用することにより仕事開拓がなされていると報告され、新潟県外からの参加者はそのグループ(全部従業員１万人!)の大きさに驚きかされました。

天寿園カフェ kimama は、自治体設置の公共の庭園「天寿園」内に設置されたカフェレストラン、若い女性に人気のフードコーディネーター・SHIORI さんが監修したランチが３種類。バターチキンカレー、ボロネーゼ、といった一緒に行った共同連年配者には少し馴染みのうすいおしゃれなメニューが並んでおりました。後半のシンポジウムでは、まずは地元新潟で障害者とともにトイレットペーパー製造事業をされている NPO 法人支援センターあんしん・樋口功さんからの報告がありました。もともとは融雪工事業を営まれていた樋口さんが、障害をもつご自身の子どもの高等学校卒業後の場作りとして会社の一角に作業場を設けたことから始まり、現在のトイレットペーパー製造業にいきつくまでの経緯についてお話されました。樋口さんの報告は「経営セミナー」さながら「商品はこうやって売るんだ」「(特別な技能を要せずに製造ができる)成熟商品の販売で安売り競争してはいけない」「企業には社会的責任を果たすことが求められる。このトイレットペーパーを購入することが社会的責任を果たすことにつながるということを強調して営業する(売上げの大部分は大口の企業が相手)」「最も優秀な人材は営業に回す」といった言葉が飛びました。福祉事業という枠内で仕事をしている私のような人間には新鮮でありました。トイレットペーパーで年間 4000 万円を売上げ、新潟市内のＢ型工賃の倍以上の工賃を支払いができているその根幹には樋口さんの確固たる経営理念とバイタリティーによるものと理解しました。

樋口さんには共同連の齋藤縣三さんと札幌障害者活動支援センターライフの石澤さんとのシンポジウムに「場違いだったかな」との戸惑いが見受けられましたが、齋藤さん石澤さんへの「前職は何でしたか？」「理念の継承はどうされてますか？」といった素朴な疑問がされ、そこから共同連に連なる団体が現在抱える課題や、今後の希望について掘り下げられました。（共同連　N、O）

声明　精神障害者自身の手によって精神保健福祉法改正法案の成立を阻止しました！

本日 6 月 18 日、第 193 回通常国会の会期が終了しました。精神保健福祉法改正法案は、16 日の衆議院本会議で継続審議になり、これによって今会期中の精神保健福祉法改正法案の成立は、完全に阻止されました。

政権の施政方針である法案を成立できないところにまで追いつめたことは、我々にとって歴史的な勝利となりました。

私たち全国「精神病」者集団は、昨年 7 月 26 日に発生した相模原市の障害者施設における殺傷事件の際にいち早く行動し、再発防止策として措置入院強化が挙げられていることの問題を全障害者の問題と位置付けられるように働きかけました。そして、相模原事件の追悼行事等では、必ず「再発防止策として精神保健福祉法改正をすべきではない」旨が確認されるようになり障害者問題としての大衆化に成功しました。他方で私たちは、兵庫県で実際に措置入院後継続支援の対象になった人ともつながり、仲間同士の輪を広げながら精神障害者の生活から問題を確認していきました。このように生活の視点から法案の問題を指摘できたことは、病者の運動らしくあったと思います。

また、私たちは法案上程前から国会において法案の集中ロビーイングをおこないました。当初は争点の少ない参議院先議の法案という位置付けでしたが、私たちの活動によって共謀罪の 2 倍にのぼる約 36 時間の審議時間を獲得し、森友、加計、共謀罪に並ぶ最重要法案として関心を高めることに成功しました。

審議段階では、参考人質疑など立法府における障害当事者参画を実現し、国会質問において障害者権利条約違反を確認するなど真の目的である撤廃の方向付けをおこなうことにも成功しました。

他方で今会期中に廃案にできなかったことは残念ですが、次の国会で審議未了にできれば、再び廃案のチャンスが訪れます。このような法案は、絶対に廃案にしなければなりません。最後の最後まで諦めずに闘い抜きましょう。　2017 年 6 月 18 日　　**全国「精神病」者集団**

1998年10月9日第三種郵便物認可　（毎月3回8の日発行）
2017年7月7日発行　SSKU　増刊通巻第 5817号

投　稿

お父さまから息子へ

ミッツ・マングローブさんの場合

皆さんは毒舌で人気の女装で知られる、ミッツ・マングローブさんを知っていますか？テレビのバラエティー番組によく出ている人です。そのお父さまのことが新聞の記事に書かれていて、私はすごく感動しましたので、少し書いてみます。

Ｉ百貨店の宣伝部に永く勤務されていて、息子さん（ミッツ・マングローブさん）が音楽の道を志し、イギリスで勉強したいとの申し出に留学させました。さらに仕事関係の英国在住の知人にフォローもさせていた優しい方です。

英国から帰国後、ミッツさんは作詞作曲の活動を望みましたが芽がでません。通訳のアルバイトをしながら女装してショーに出ていました。実家から毎晩出かけていくので、お父さまもミッツさんの実情を知り始めるも、驚きませんでした。長年デザイナーと仕事をしてきて＜同性愛や女装＞などに違和感や偏見はありませんでした。ご自身もロンドン勤務という経験からもあります。

当時、実家に居続けるミッツさんの立ち振る舞いより、自立できないことが悩みだったといいます。早く扶養家族から離れさせようとし１人暮らしをさせますが、夜の世界に詳しい知人にこっそり助言を頼み、東京丸の内のバー「R」のママとして雇ってくれるように根回しをちゃんとしてました。さらにテレビに出演の好機をえます。

多様性社会での自立！

※カットはそのジャケットから

ミッツさんは「仕事に影響があるなら僕は出ない」とお父様のことを考え、それを聞いた時「出られるなら出ろ」と二つ返事で励ましました。

親として息子がドロップアウト（脱落）した意識が全くなく、ミッツさんの自叙伝（新潮社）で自分は「罪作り」と書いてましたが、お父様はそんなことはまったくないそうです。逆によくここまで来たなと誇らしい気持ちだそうです。ただ自慢はしませんがと笑っているといいます。ミッツさんを支えているのは、お父様の息子への信頼感です。

祖父母が亡くなった時、葬式の指揮を執ったり、孫の世話についても指図するといいます。家ではやっぱり「長男」ですと話し、お父様は自分の子どもであることを喜んでおられます。

私は両親が他界しています。ミッツさんの家族が素敵に感じました。今、私は精神疾患と向き合いながら再就職へ、リボーンのスタッフの暖かい思いやりを持ってサポートして頂いております。人それぞれ病気の状態は違いますが就職という目的は同じです（人生の通過ポイントまだ途中）ご家族のいらっしゃる方は、ミッツさんみたいに（2人3脚）という力強い体制です。長距離マラソンになるかもしれませんが、ご家族で呼吸を合わせ、歩調を合わせれば、いずれ自立した生活というゴールにたどり着けると私は信じています。BGMにZARDの「負けないで」の曲を聞きながら進みましょう。

H・S

就労支援センター北わくわくかん

登録者（2017年５月末）686名
就職者　９名(事務４名、警備、ヘルパー、軽作業、洗い場、保守)

先月　ご協力いただいた皆様

・北区障害福祉課・北区健康推進部・北区社会福祉協議会・北区障害者福祉障害者センター・ハローワーク王子・池袋・飯田橋・東京障害者職業センター・東京都障がい者就業支援事業所の会・北区身体障害者協和会・北区聴覚障害者協会・東京都精神保健福祉家族会連合会・精神障害者地域生活支援とうきょう会議・西ヶ原病院デイケア・NPO飛鳥会・きたく子ども劇場・わかこまちゃん・東京しごと財団・町田の丘学園・㈱ECA・一般社団しげんカフェシステムズ・スーユンタン・ぶろぼの・えんこらしょ・企業組合あうん等
他、多くの方に協力いただきました。

グループホームわくわくかん

現在、男性２名・女性１名の方が入居中です。Ｓ君が、非常勤として男性入居者のお手伝いをしてくれることになりました。実習中に男性世話人Ｆさんの話に感銘を受け来てくれたＳ君。お手伝い当日、約束していたはずの入居者Ｓさんが居なく、たまたま居た隣室者のＨさんが「今日は僕の日です」と言われたり、初日から想定外の事だらけ。入居者Ｓさんからは「あんな細い身体で、俺のパワーについて来れるのか？」と言われてますが、世話人Ｆさんからの前夜のラインによる無茶振りにも頑張ってついてきてくれます！そんなある日世話人Ｆさんが、Ｓ君からサシカラオケに誘われたと戸惑っていましたが、Ｓ君の「Ｆさんへの想いが溢れてしまって」の言葉にまんざらでもない様子。新しい仲間が増えて、益々楽しくなりそうなグループホームです。

▼編集後記▼

新宿・花園神社境内に設けられた特設紫テントで演じられた新宿梁山泊創立30周年第２弾の『腰巻おぼろ―妖鯨篇』。前回は1972年、上野不忍池から這い上がってのソウル・東京の『二都物語』の再演を見たが、今年は月の魔力に導かれ、恋の亡者が輪舞する５時間の戯曲を３時間に縮めての舞台だった。そこにはかつてアングラ演劇という驚愕・破荒天にみえた世界は状況劇場、黒テントの遺産をも引き継いで、金守珍の国籍不明な透明性に照らし出された世界があった。それは現在のグローバリズムの無機質で暴力的な光景とは違ったとてもやわらかでなつかしげな世界。李礼仙から水島カンナへの世代交代、唐十郎もステージコールに登場して次世代に伝えていくものは、鯨の大背びれに跳ね上げられて舞台と観客が水浸しにあって感じる海といううねりへの共感だ。

発行所　郵便番号157-0073　東京都世田谷区砧6-26-21　特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会　定価100円(会費に含む)